

事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

I 概況

協会を取り巻く環境は、少子高齢化に加え、経済のグローバル化、IT社会、労働環境等々大きく変わり、これらが「会員の減少」に端的に表れています。

一方、令和2年当初は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が近づくに従い、海外からは「日本の固有文化」への関心が高まっている状況にありました。

協会は、このような環境の中にあつて、コロナ禍に伴い令和2年2月27日に発令された小中学校一斉休校は認識しつつも、令和元年度第5回理事会(令和2年3月23日開催)において「令和2年度事業計画・収支予算」を決定し、協会の自主事業(三曲名流演奏会、三曲定期公演—日本の響—、三曲奨励会、講演会、子供演奏会等)は、各々例年と同じ規模・内容で実施する計画と致しましたが、コロナ禍は収まるどころを見せず、下記に掲げる通り中止・延期を始め大幅な計画変更を余儀なくされました。

また、国・地方自治体等の助成事業(文化芸術による子供の育成事業～巡回公演事業～、子供のための伝統文化・芸能体験事業、キッズ伝統芸能体験事業)につきましても、事業の委託元・実施場所(学校等)と鋭意調整を行ったものの、コロナ禍の中止要請もあり、規模を縮小して行うこととなりました。

平成30年度には、新規会員の獲得策、新たな会員サービス(秋季三曲名流演奏会の開催)の推進により、会員数減少に一時的に歯止めをかけることができましたが、平成31年度には再び減少傾向を辿る結果となっており、その傾向は令和2年度も続いております。このような状況の中、財務面の不安も浮き彫りになっておりましたので、令和2年6月15日開催の第11回通常総会において、令和3年度からの会費の値上げについてご審議賜り、ご承認いただきました。

協会として、引き続き、会員増強、経費節減、財務体質強化に取り組んでまいります。会員の皆様方にも何卒ご協力をお願いする次第であります。

なお、協会への寄付金につきましては、平成29年9月に内閣総理大臣より税額控除団体として認定を受けております。ご寄付を頂いた方々に心より感謝を申し上げます。

オリンピックイヤーとなるはずであった令和2年度には、「日本博」として様々な催しの開催が計画されました。当協会も、この趣旨に則って「寿ぎの宴」と題して邦楽関係の他団体の協力の下、演奏会を企図し開催致しました。本演奏会については当初の計画にはなかった事業でもあり、実行予算が多大であること、文化庁他の予算を使用することから、理事会において「令和2年度事業計画の一部変更」を決議致しましたことをご報告致します。

以下に、令和2年度事業の実施状況を報告します。

II 主な事業報告

公益事業1 三曲音楽の普及・振興を主な目的とする事業

公1(1) 定期演奏会事業

● 三曲名流演奏会 <自主事業>

【春季名流演奏会】

平成26年にそれまでの三曲定期演奏会と三曲名流大会を統合して「三曲名流演奏会」となつてから7年目の演奏会を開催する予定で、プログラムは既に作成されていたものの、『緊急事態宣言』が発出される見通しとなったため、直前の4月2日に臨時召集された第1回理事会において、中止を決定した。

【当初計画】

日 時：令和2年5月4日(月・祝) 10時45分開演

会 場：国立劇場大劇場

演奏曲数：全40曲

出演者：40社中、延約1,294名

各社中から推薦戴いた子供たち 74 名
 関東学生三曲連盟の学生 55 名

【秋季名流演奏会】

三曲の普及・向上に向け、会員の出演機会を増やすことを狙いとして平成30年から開催し3年目となる計画でしたが、6月15日開催の第2回理事会において、コロナ禍のため中止を決定した。

【当初計画】

日 時：令和2年11月3日(火・祝) 11時開演
 会 場：国立劇場小劇場

● 「三曲定期公演－第7回日本の響－」 <自主事業>

「日本の響」は、令和元年より3年間に亘って、「三曲に描かれる能楽の世界」と題し、能をテーマとして開催する計画としている。三曲には能を題材とする作品が数多く見られ、それらの曲から選りすぐって聴きごたえのある名曲により構成して開催。

当初10月3日開催予定であったが、コロナ禍により2日間に分け、また、9月27日(日)に開催予定であった講演会を吸収する形で無観客にて開催した。

日 時：令和2年10月1日(木)、3日(土)
 会 場：二十五世観世左近記念・観世能楽堂(銀座SIX内)
 構 成：一日目4曲、二日目講演会、5曲
 出演者：会員 延37名、客演3名
 入場者：無観客(後日ツイキャスにて有料配信実施)

公1(2) 教育関係普及事業

● 「箏の寄贈」 <自主事業>

募集・周知：ホームページなどで実施
 応募数：7件 寄贈数：3面
 寄贈先：右表の通り
 配 布：12月に「箏の教則本」と併せて贈呈

寄 贈 先	
1	茨城県 行方市立麻生東小学校
2	静岡県 磐田市立向笠小学校
3	群馬県 伊勢崎市立宮郷第二小学校

● 学校等派遣演奏

① 「学校等への講師派遣、演奏」 <自主事業>

募集・周知：ホームページ
 対 象：東京都内の小中学校
 内 容：講師派遣及び演奏の実施
 依頼件数：0件 実施件数：0件

② 「文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-」 <受託事業(KNTビジネスクリエイト)>

文化庁の選定を受け、学校の体育館等で箏のワークショップと邦楽演奏の巡回公演を実施。当初9校の予定が2校辞退したため7校の実施計画であったが、更にコロナ禍で実施直前の中止もあり、急遽日程を組み替えての実施となった。なお、追加実施の依頼があり、2月に1校が加わった。

期 間：ワークショップ 令和2年11月19日～令和3年2月2日
 本 公 演 令和2年12月2日～令和3年2月2日
 講 師：会員 延49名を派遣
 公演内訳：下表の通り

	巡 回 日		巡 回 先	講 師 数	
	ワークショップ	本公演		ワ-ク シヨッ ^o	本 公 演
1	11月19日	12月3日(中止)	徳島県 上板町立松島小学校	5名	-

2	11月20日	12月2日(中止)	徳島県 阿南市立富岡小学校	5名	-
3	12月7日	12月17日	愛媛県 西条市立国安小学校	5名	9名
4	12月8日	12月16日	愛媛県 西条市立庄内小学校	5名	9名
5	12月8日(中止)	12月14日(中止)	高知県 宿毛市立東中学校	-	-
6	12月9日(中止)	12月15日(中止)	高知県 日高村佐川町学校組合立加茂小学校	-	-
7	12月10日(中止)	12月18日(中止)	高知県 香美市立舟入小学校	-	-
8	2月2日	2月2日	茨城県 開智望中等教育学校(学法開智学園)	9名	9名

③「子供のための伝統文化・芸能体験事業」 <受託事業(日本芸能実演家団体協議会)>

アーツカウンシル東京(東京都歴史文化財団)が主催。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムのリーディングプロジェクトとして東京都が実施する事業について、日本芸能実演家団体協議会からの事業受託で実施。

期 間：令和2年12月3日～令和3年2月12日

講 師：会員 延20名を派遣

	実 施 日	実 施 先	講師数
1	令和2年12月3日	八丈町立大賀郷中学校	5名
2	令和2年12月17日	台東区立金曾木小学校	5名
3	令和2年12月25日	都立足立新田高等学校	5名
4	令和3年2月12日	世田谷区立代沢小学校	5名

④「東京都オリンピック・パラリンピック教育支援事業」

～日本の伝統楽器(こと・尺八)を体験、鑑賞しよう～

	実 施 日	実 施 先	講師数
1	令和3年2月16日	渋谷区立笹塚小学校	5名

● 箏教則等の配布・頒布 <自主事業>

①「箏の教則本」

箏寄贈校に各1冊を配布、会員等の希望者に53冊を頒布。

②「学校音楽教師用テキスト 箏・三絃・尺八の指導」

会員等の希望者に11冊を頒布。

● 学校音楽指導者認定試験及び講習会/学校音楽研修会の実施 <自主事業>

本年度実施しないこととなった。

公1(3) 協賛・支援事業

● 明治神宮奉納演奏 <協力事業(明治神宮)>

会 場：明治神宮拝殿前舞台

	実 施 日	奉納演奏者
【春の大祭】	コロナ禍のため奉納中止	
【秋の大祭】	令和2年10月30日(金)	富山清琴・萩岡松韻・廣田鉦山

● 「和の音色を継いで未来へ ～寿ぎの宴～」 <共催事業> <助成：(公財)松尾芸能振興財団>

日本博主催・共催型プロジェクト(主催：当協会、文化庁、(独法)日本芸術文化振興会)>

日 時：令和3年3月15日(月)、16日(火)

会 場：国立劇場小劇場

構 成：一日目 第1部4曲(新作1曲5章を含む)、第2部4曲

二日目 第1部5曲、第2部4曲

出演者：会員 延233名、客演73名、子供 延51名

入場者：延530名(後日ピーティックスにて有料配信実施)

● 「キッズ伝統芸能体験講師派遣」 <受託事業(日本芸能実演家団体協議会)>

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)が主催。子供たちに伝統芸能を体験してもらおう事業で13年目を迎えた。日本芸能実演家団体協議会からの依頼により講師等を派遣。例年6月からの生徒募集を9月からとし、1クラスの受講人数・回数、1回あたりの講習時間を減らしたうえ、新型コロナウイルス感染症予防対策を施して実施。

- A. 開講式 コロナ禍のため開講式は中止し、広報用に講師インタビューと動画撮影を行った。
 実施日：令和2年9月20日(日)
 会場：国立能楽堂(渋谷区)
 内容：箏曲(生田流・山田流)・尺八の、それぞれのコース・講師紹介等の動画を撮影した。

B. お稽古

期間：令和2年11月(ユースは令和3年1月)から令和3年3月まで
 講師：会員20名を派遣(山田流は両プログラム兼務)

プログラム	教室	参加者数	会場	講師数
スタンダードプログラム	生田流	18名	新宿文化センター	6名
	山田流	10名	新宿文化センター	6名
	尺八	9名	芸能花伝舎	2名
ユースプログラム	山田流	10名	新宿文化センター	6名

C. 発表会

実施日：令和3年3月29日(月)、30日(火)
 会場：国立劇場大劇場
 発表曲：以下を演奏

プログラム	教室	発表曲
スタンダードプログラム	生田流	さくら、うさぎ、ずいずいずっころぼし
	山田流	岡康砧〈キッズ版〉
	尺八	浜千鳥、花笠音頭
ユースプログラム	山田流	ウルマ

プロ実演：「松竹梅」 生田流・山田流講師4名、尺八1名出演
 「呼返鹿の遠音」 尺八講師2名出演

● 子供のためのお箏教室 <立川市地域文化振興財団と連携>

東京2020文化オリンピアドの一環として、子供対象の箏曲クラブに協力。

地域	期間	会場	参加者	講師数
立川市	令和2年6月~10月	たましんりスルホール	11名	1名

● 江戸東京博物館新春演奏会 <協力事業(東京都江戸東京博物館)>

実施日：令和3年1月5日(火)、6日(水)

会場：博物館5階中村座前

出演者：会員2名を派遣

● 邦楽演奏会 <共催事業(邦楽実演家団体連絡会議主催)>

都民芸術フェスティバル第50回参加公演への協力。

日時：令和3年3月20日(土・祝) 第一部 11時 楽器解説、「日本月めぐり」に会員出演
 第二部 14時 「笹の露」に会員出演
 第三部 18時 「雲井幻想令和」に会員出演

会場：国立劇場小劇場

公1(4) 普及広報等事業

● 会報の発行 <自主事業>

第119号 令和2年4月に発行

掲載内容 新年交歓会、[連載] 地歌・箏曲の先師たち⑳、第 34 回三曲奨励会の報告、松阪春栄検校 没後百年に寄せて(前編)、令和 3 年度「三曲新進演奏家研修支援事業」研修生募集、実技講習会のお知らせ、『キッズ伝統芸能体験事業』の報告、「第 6 回日本の響」開催報告、第 7 回日本の響～三曲に描かれる能楽の世界<II>～の案内、三曲新進演奏家研修支援事業の研修生募集、演奏会情報、他

第 120 号 令和 2 年 12 月に発行

掲載内容 第 11 回通常総会の報告、第 53 回功労会員表彰、松阪春栄検校 没後百年に寄せて(後編)、「第 7 回日本の響」開催報告、With コロナにおける演奏会とお稽古場で今できること、演奏会情報、他

- ホームページ等の普及広報活動 <自主事業>
協会全般にわたる情報のほか、会報、演奏会情報、各種募集等を掲載。
 - ・ホームページの運営・記事更新の充実
 - ・協会フェイスブックの運営
 - ・その他外部への広報活動

公益事業 2 三曲音楽継承者の育成支援及び三曲音楽の向上を主な目的とする事業

公 2 (1) 三曲奨励会事業

- 三曲奨励会 <自主事業>
35 回目の三曲奨励会を実施
日 時：令和 3 年 2 月 5 日(金) 16 時開演(当初予定の令和 2 年 12 月 3 日より延期)
会 場：紀尾井小ホール : 無観客開催
構 成：新進演奏家研修生を含む 4 曲 5 名出演

公 2 (2) 研修支援事業

- 新進演奏家研修支援 <自主事業(文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」助成)>
(令和 2 年度研修の実施)
期 間：令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月
研修生：会員 3 名を選定
(令和 3 年度研修生の募集・選考)
期 間：令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月
選 考：令和 2 年 11 月、第 6 回理事会で会員 3 名を選定、文化庁に助成申請。

公 2 (3) 育成促進事業

- 講演会 <自主事業>
日 時：令和 2 年 9 月 27 日(日)に開催予定であったがコロナ禍のため中止し、10 月 3 日開催の「第 7 回日本の響」の一部として無観客開催・収録をおこなった。
演 題：三曲に描かれる能楽の世界 II
会 場：二十五世観世左近記念・観世能楽堂(銀座 SIX 内)
講 師：野川美穂子師、武田孝史師(宝生流シテ方)
- 実技講習会 <自主事業>
令和 2 年は、コロナ禍のため延期し、令和 3 年度に同じ内容で開催することとした。
- 子供演奏会 <自主事業>
第 14 回子供演奏会を令和 2 年 8 月 17 日(月)に江東区亀戸文化センター カメラプラザにて開催予定であったが、コロナ禍のため中止とした。

公 2 (4) 助成事業

- 全国高等学校箏曲連盟定期演奏会 <協力事業>

例年は、助成、講評者派遣、調弦の協力実施。
実施日：令和3年1月は、コロナ禍のため開催中止

● 栃木県高等学校文化連盟日本音楽部会発表会 <協力事業>

例年は、模範演奏と審査員派遣実施。

(春季発表会)

実施日：令和2年6月は、コロナ禍のため開催中止

(秋季発表会)

実施日：令和2年11月

会 場：各学校ごとにDVD録画

審査員：理事2名、DVD録画にて審査

その他事業1 功労会員表彰事業

● 功労会員/第53回功労会員表彰 <自主事業>

日 時：令和2年6月15日(月) 通常総会終了後に表彰式を予定していたが、コロナ禍のため中止とした。表彰対象者へ表彰状を郵送した。

表彰者：功労会員表彰 103名

その他事業2 三曲音楽の普及・向上を目的とする交流事業

● 新年交歓会 <自主事業>

日 時：令和3年1月7日(木)に開催予定であったが、コロナ禍のため中止とした。

● 邦楽関係団体との交流

① 「邦楽実演家団体連絡会議」へ参加

組織の性格：邦楽関係14団体で構成される任意団体、(公社)日本芸能実演家団体協議会に加盟
活動内容：都民芸術フェスティバル参加公演「邦楽演奏会」を主催

② 「三曲ネットワーク Japan」へ参加

組織の性格：全国の邦楽関係団体との連携・協力などを目的にした任意団体
参加団体数：24団体
事務局：栃木県三曲協会 会長宅
活動内容：ネットワーク情報作成・配布など

その他事業3 その他の事業

● 令和2年度芸術文化活動の継続支援事業 <文化庁>

コロナ禍のため影響を被った国内で活動する文化芸術関係者に対し、活動の再開・継続に向けた積極的な取組に要する費用を文化庁が助成するにあたり、申請者が申請条件に合致するか否かを事前に確認するための「事前確認番号発行の統括団体」として当協会が認定され、所定の申請様式及び公演等実績の提出があった会員122名に対し事前確認番号を発行した。

発行時期：令和2年7月～9月 及び 11月25日～12月11日(追加募集)

その他：当協会は事前確認番号の発行のみを行い、実申請の有無・申請内容等は関知していない。

III その他の報告

1. 会員異動状況(令和3年3月末現在)

(単位：人)

会員内訳	令和元年度末	令和2年度末	増減数	異動内訳
------	--------	--------	-----	------

正会員	4,868	4,687	▲ 181	入会 52名 退会 233名
生田部	2,314	2,248	▲ 66	
山田部	1,818	1,740	▲ 78	
尺八部	736	699	▲ 37	
賛助会員	0	0		
名誉会員	0	0		
合計	4,868	4,687	▲ 181	

2. 役員の就任状況（令和3年3月末現在）

役職	氏名(芸名)	業務執行担当	職業等
会長	富山 清琴	代表理事	生田流箏曲教授
副会長	萩岡 松韻	事業・普及・研修・渉外担当	山田流箏曲教授
	廣田 鉦山	総務・広報・経理担当	都山流尺八教授
常任理事	青木 鈴慕	事業担当部長	琴古流尺八教授
	中島 一子	総務担当部長	生田流箏曲教授
	中能島 弘子	普及担当部長	山田流箏曲教授
	藤井 千代賀	経理担当部長	山田流箏曲教授
	牧瀬 裕理子	研修担当部長	生田流箏曲教授
	山登 松和	広報担当部長	山田流箏曲教授
	米川 敏子	渉外担当部長	生田流箏曲教授
理事	阿部 幸夫	総務担当次長	生田流箏曲教授
	伊藤 松超	研修担当次長	山田流箏曲教授
	上原 真佐輝	事業担当次長	山田流箏曲教授
	川瀬 庸輔	事業担当次長	琴古流尺八教授
	川瀬 露秋	広報担当次長	生田流箏曲教授
	神田 都美井	渉外担当次長	山田流箏曲教授
	鈴木 白韻	経理担当次長	生田流箏曲教授
	平野 裕子	広報担当次長	生田流箏曲教授
	福田 栄香	普及担当次長	生田流箏曲教授
	藤井 治童	総務担当次長	琴古流尺八教授
	藤井 泰和	渉外担当次長	生田流箏曲教授
	宮下 秀冽	研修担当次長	山田流箏曲教授
	山川 園松	総務担当次長	山田流箏曲教授
	山木 千賀	広報担当次長	山田流箏曲教授
	山勢 麻衣子	普及担当次長	山田流箏曲教授
米川 文清	事業担当次長	生田流箏曲教授	
監事	鳥居 名美野		山田流箏曲教授
	水野 香盟		琴古流尺八教授
	矢崎 明子		生田流箏曲教授

3. 名誉会長及び相談役

名誉会長 米川 文子（生田流箏曲）
同 山勢 松韻（山田流箏曲）
同 川瀬 順輔（琴古流尺八）
相談役 古屋 富蔵（生田流箏曲）

4. 専門委員

古川 晴玄（法務）
水井 竹隆（会計）

5. 委員会

委員会名称	委員長	委員会名称	委員長
第一事業運営委員会	竹内 鈴白	総務委員会	岸辺 美千賀
第二事業運営委員会	神 令	規程委員会	北山 士童
第三事業運営委員会	荒屋 夢童	第一広報委員会	清野 樹盟
普及促進委員会	山本 邦山	第二広報委員会	田辺 頌山
研修運営委員会	岡村 慎太郎	経理委員会	田村 格山
渉外運営委員会	野村 峰山		

6. 外部団体・機関窓口

外部団体・機関名称	職名・担当者等
邦楽実演家団体連絡会議	(運営委員) 廣田 銚山 副会長
三曲ネットワーク Japan	(副会長) 米川 敏子 常任理事
オリンピック文化プロジェクト	萩岡松韻 副会長、米川 敏子・中島一子 常任理事

7. 事務局職員等に関する事項

常勤職員 2 名、短期雇用職員 4 名

8. 総会及び役員会等に関する事項

(1) 総会の開催

第 1 1 回通常総会

日 時：令和 2 年 6 月 15 日(月) 14 時開会

会 場：主婦会館プラザエフ (千代田区)

会員総数：4,896 名

出席会員：1,912 名 (本人出席 33 名、委任状 1,879 名)

議案等：第 1 号議案 令和元年度事業報告承認の件

第 2 号議案 正会員の年会費改定の件

報告事項 I 令和 2 年度事業計画

(2) 理事会の開催 会場：DAYS 赤坂見附 3 階貸会議室他

第 1 回(通算第 50 回) 令和 2 年 4 月 2 日(月)

第 2 回(通算第 51 回) 令和 2 年 5 月 11 日(水) 書面開催

第 3 回(通算第 52 回) 令和 2 年 6 月 15 日(月)

第 4 回(通算第 53 回) 令和 2 年 9 月 14 日(月)

第 5 回(通算第 54 回) 令和 2 年 10 月 19 日(月)

第 6 回(通算第 55 回) 令和 2 年 11 月 30 日(月)

第 7 回(通算第 56 回) 令和 3 年 3 月 22 日(月)

(3) 監事監査の実施 会場：赤坂 TKビル 3 階 会議室

令和 2 年 5 月 7 日(木) 実施

9. 寄付金に関する事項

会員に対する寄付金募集を、会報 120 号(令和 2 年 12 月発行)で周知した。(振込依頼書を同封)

寄付金は以下の通り (令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月)

件数：228 件 金額：2,331 千円

平成 29 年 9 月に税額控除対象法人として認可が降り、寄付金は税額控除対象寄付金となる。

以上